

様式

技術名称	太平洋カルストーン	技術の分類	材料	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	CBK-040001-V
会社名等	太平洋セメント株式会社	担当者	山田義典		連絡先 052-808-3705
技術の概要	各種構造物の裏込め、埋戻しや盛土工事で、その材料を軽量化することによって、構造物に作用する土圧あるいは荷重を低減させる技術です。これにより、構造物の安定性が向上するが、併せて規模の縮小化に伴うトータルコスト低減も期待できます。天然の岩石から製造する、軽量・高強度・高耐久で物理的・化学的に非常に安定した、環境に優しい無機骨材です。嵩密度は約11kN/m ³ で、内部摩擦角は42度取れる材料です。ケーソン護岸・矢板護岸・擁壁の裏込め工事、地下埋設構造物の埋め戻し工事、盛土工事などでご使用頂けます。			添付資料	パンフの有無 有
					その他の資料 施工事例他
技術の特徴	<p>水に浮かない軽量盛土(粒子密度1.6g/cm³と水より重い)であり、水に浮き上がりが生じません。よって水中施工が可能ですし、浮力対策も必要ありません。</p> <p>透水係数がk=4.1×10cm/secと極めて高いことから、盛土内の残留水圧の低減が可能です。</p> <p>施工は、特殊な機械を必要とせず、敷き均し・転圧等です。土圧を低減することで、矢板の規模縮小が可能となり、矢板施工日数も少なくなります。SGM工法等で必要となる仮設プラントや養生期間も不要であり工期短縮も期待できますし、小規模工事でも経済的です。将来的維持管理で、再掘削が必要となった場合でも掘削施工が可能ですし、無機の天然骨材と同様に廃棄処分も可能です。</p>			その他	<p>活用に当たっては、下記の留意点が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計時 地下水位が影響する部位に適用を考慮する際、水中有効重量(γ')、水中飽和密度($\gamma_{t\ sat}$)にて自重を考慮する。 ・施工時 端部、隅角部では、ランマ、タンパ、振動プレートなどを使用して敷き均し転圧を行う。 ・その他 粒度が異なる土と接する場合、浸透水流の大きい箇所には、吸い出し防止の透水シートが必要になる場合がある。

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。